

R4年度 学校教育目標 「しなやかで ともに学ぶ子 やりぬく子」  
経営のコンセプト「三問を整え、東小オリジナルを創造する」



# かがやけ光の子

[ Second mission ]

みんなで創ろう 伝え合おう

函南町立東小学校  
令和4年10月発行  
全国学力・学習状況調査号

## 「全国学力・学習状況調査の結果」から

4月に「全国学力・学習状況調査」が実施され、小学校6年生と中学校3年生を対象に行われました。今年度は「国語」「算数」「理科」の3教科と「児童質問紙（生活習慣や学習習慣についての質問事項）」の調査が行われました。調査の目的は、児童の学力や学習状況の現状を把握・分析し、成果と課題を検証して改善を図るとともに、学校における児童・生徒への指導の充実や学習状況の改善に役立てることです。なお、調査問題は、以下のように学力の三要素を把握・分析するためにバランスよく構成されています。

知識・技能，思考・判断・表現 → 「知識」「活用」に関する問題【国・算・理】  
主体的に学習に取り組む態度 → 生活習慣や学習環境等に関する質問【児童質問紙】

調査の結果を教科・学習内容ごとにまとめました。以下の表は、本校の平均と全国の平均正答率を比較したものです。また、表の下部に傾向・考察を記載しました。

### 1 教科について

( ◎全国・静岡県との平均より高い ○どちらかより高い △全国・静岡県との平均より低い )

国語	項目(設問数)	正答率の比較
学習指導要領における内容	言葉の特徴や使い方に関する事項(5問)	△
	我が国の言葉文化に関する事項(1問)	○
	話すこと・聞くこと(2問)	◎
	書くこと(2問)	○
	読むこと(4問)	△
総合的な結果	計14問	○

文章を「読む」力を育む必要があります。全体の構成を読み取る力や、文章の核となる大事な部分を捉え、表現する力を身に付けていくことが大切であると感じました。授業においても要点をつかみ、短い文で要約したことを互いに伝え合う言語活動を通して、読む力の育成を図ります。

「話すこと・聞くこと」については、全国・県平均を大きく上回りました。互いの立場や意図を明らかにしながら計画的に話し合ったり、自分の考えをまとめたりする力は、日頃の話し合い活動や特別活動における成果であると感じています。

算数	項目(設問数)	正答率の比較
学習指導要領における内容	数と計算(6問)	◎
	図形(4問)	○
	変化と関係(4問)	△
	データの活用(3問)	○
総合的な結果	計16問	○

全国・県の平均と1ポイント差で、おおむね正答率が同数値でありました。特に、数と計算については基本的な計算力が身に付いていることが分かります。反対に、データの活用全般において、すべての設問で平均を下回っていたことから、目的に応じて表やグラフを読み取ったり、データや傾向を捉えて考えたりする力を身に付けていきたいと考えています。

理科	項目(設問数)	正答率の比較
学習指導要領における内容	「エネルギー」を柱とする領域(4問)	△
	「粒子」を柱とした領域(5問)	○
	「生命」を柱とした領域(5問)	◎
	「地球」を柱とした領域(5問)	○
総合的な結果	計19問	◎

特に、「実験で得た結果を、問題の視点で分析して自分の考えを説明するという力」が全国・県の平均よりも7ポイント以上差があり、課題となるところです。教科にとらわれず、何事も自分で分析して考えを説明するという学びの過程を大切にし、思考力を高める授業づくりに努めていきます。

## 2 質問紙について

【児童質問紙】質問項目	当てはまる・やや当てはまると回答した割合
携帯電話・スマートフォン・コンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っている	75.2%
自分にはよいところがあると思う	90.5%
将来の夢や目標を持っている	84.8%
自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしている	93.4%
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦している	81.9%
人が困っている時は、進んで助けている	98.1%
いじめはどんな理由があってもいけないことだと思う	98.1%
学校に行くのは楽しいと思う	84.8%
友達と協力するのは楽しいと思う	99.1%
国語・算数・理科の勉強が好き	74.7%

- ・毎日の朝食接種率が全国・県の平均より下回っていたり、就寝時刻が遅い傾向にあったりするなど、生活リズムに課題が見られます。生活リズムをつくることは、家庭においても学校生活においても健康的な体づくりの基盤となります。睡眠時間の管理や朝食摂取について、ご家庭でも見届けをお願いします。
- ・「やり遂げる」「失敗を恐れなくて挑戦する」「友達と協力する」などについては、学校の教育目標と繋がる目指す子供の姿です。これからも様々な教育活動を通して、子供が自身の決めた目標に向けて、果敢に挑戦し、友達と協力し合いながらやり遂げていくよう、家庭・地域・学校で支援していきましょう。
- ・「ゲーム時間」「SNS/動画視聴時間」については、多くの児童の課題として挙げられています。ご家庭においても、使い方の約束が十分守れていないようです。時間を決めて取り組むなど、メディアの使用方法について、もう一度ルールを再確認してみてもいいでしょうか。

## 3 終わりに

本校の強みとして、基本的な知識及び技能の定着がされています。年3回実施する確認テストや学習の積み重ねが結果として表れました。このよさを踏まえ、様々な問題を捉えて考察し、自分の考えを表現する力を日々の教育活動を通して身に付ける工夫をしていきます。